

なかまや若者たちと協同して 地域の民主的拠点となる 協同組合事業をめざそう!

Zoom参加
可能です

7月24日(日) 9:30~11:45

大阪会場 **エル・おおさか**

東京会場 フェアコープ事務所

大田区西蒲田 4-23-3 ファミール西蒲田 1F

■問合せ先■ かどの / 090-3271-8514 おおた / 090-3272-6447

プログラム

09:30

開会あいさつ

09:35

分科会基調 / 分科会決議の提案

09:40 ~ 10:15

① 労働者協同組合の実践に学ぶ

「短編映画『Workers 2』～墨田下町3つの物語」

・東京東部事業所で働くなかまからの報告…藤平さん

10:15 ~ 10:35

② 北海道札幌市の実践に学ぶ

「人にやさしい事業所の開所と

民主的地域拠点づくりへの展望」

障がい福祉サービス相談支援事業所「ぱすてる」

山川さん

— 休憩 10分 —

10:45 ~ 11:05

③ コロナ禍の事業運営の闘いに学ぶ

・NPO法人つむぎの家 畑さん

対自治体要請行動

・(株)耕文社 菅井さん

民主的職場づくり

・NPO法人みんなの手 原田さん

コロナ禍での事業所運営の闘い

・フェアコープ関東 佐々木さん

東京南部事業所開設の展望

11:05 ~ 11:35

④ 参加者からの質疑・フリートーク

11:35 ~ 11:45

分科会決議採択、開会あいさつ

コロナ禍3年目。コロナ感染がいつ終息するか、見通しは立ちません。

しかし、岸田自公政権は、持続化給付金・家賃補助・雇用調整金などの支援策の打ち切りを強行。事業資金の枯渇や生活資金の借入返済を迫られ、倒産や失業が増えています。さらに、物価高騰や実質賃金の減少で国民の生活破壊がひろがっています。

東京リサーチによると、5月の企業倒産件数(負債額1,000円以上)は前年同月比11.0%増の524件となり、2カ月連続で前年を上回りました。倒産は、サービス業、運輸業、製造業、建設業にひろがり、「倒産は緩やかに増勢に転じ、今後、体力のない企業の息切れ倒産が(件数を)押し上げていく」と指摘しています。

コロナ禍で可視化された社会の格差・不平等をいっそうひろげる「今だけ、金だけ、自分だけ」の資本主義のもとでは、私たちの命と暮らし、環境、地域社会を守ることはできません。

このような状況下でも、人と社会、地域に役立つ仕事をめざして、労働者協同組合の事業運営や、障害相談支援事業所の開設に取り組む仲間がいます。2022年10月には労働者協同組合法が施行されます。福祉行政の切り捨てに対し、各地の市民が自分たちで地域の課題を解決しようと新たな事業所の立ち上げがすすんでいます。社会に貢献し、働きがいのある仕事ができる暮らしを求める若者たちの声もひろがっています。

行政サービスを企業の金儲けに売り渡す「民営化」ではなく、福祉や営みを私たち市民の手に取り戻す「市民営化」をめざして私たちに何ができるのか。また、コロナ禍で競争が激化し窮地に追いやられる中で、競争ではなく協同の力でどう乗り切るのか、学びと対話を通じて、その方針を討議したいと思います。

東京会場はチラシ作成段階で未定です。最新情報は ZENKO サイトをご確認ください。分科会に参加するには 2022 ZENKO in 大阪への参加チケット(有料)が必要です。Zoom 参加締切は前日 17 時までに ZENKO サイトからオンライン参加申込を済ませてください。



◀ 2022 ZENKO in 大阪 WEB サイト
<https://zenko-peace.com/2022zenko>

